

魂をゆるがすあの叩き奏法は、いつ、誰が始めたのか？

劇場用長編アニメーション映画

# NITABOH

仁太坊—津軽三味線始祖外聞

時代は、明治維新。一人の青年の手によって  
新しい日本文化が生み出された。

しかし、そこに至るには、  
あまりにも過酷でかつ壮絶な人間ドラマがあった！

**第11回リヨン-アジア映画祭** (フランス/リヨン)  
観客による「ベストアニメ映画賞」第1位受賞  
**Reel 2 Real 国際青少年映画祭** (オランダ/ハーグ)  
世界の子どもたちが選んだ「ベストピクチャー賞」受賞

MOFFOW 2005 チェコ国際映画祭 公式招待上映 2005年10月(チェコ/プラハ)  
ゴールデン・エレファント-14~国際子ども映画祭 公式招待上映 2005年11月(インド/ハイデラーバード)  
フューチャー・フィルムフェスティバル 公式招待上映 2006年1月(イタリア/ボローニャ)  
オックスフォード国際映画祭 公式招待上映 2006年5月(イギリス/オックスフォード)  
ベルリン国際映画祭 フィルムマーケット出展 2005年2月(ドイツ/ベルリン)  
アヌシー国際アニメーション・フェスティバル フィルムマーケット出展 2005年6月(フランス/アヌシー)



＜推薦・推奨団体＞ 文部科学省選定 (少年向、青年向、成人向)

仁太坊——江戸から明治へという大きな時代変化の中で、様々なハンディや時代の壁と戦いながら、生きるために必死になって、今に伝わる津軽三味線の独自の叩き奏法を生み出した人物。

このアニメは、仁太坊の少年期から青年期の成長の過程を史実とフィクションを交えて描き出したもの。豊かな文明社会にとすれば翻弄され、自らの精神の拠り所を失っているとも見える現在の日本人に、強烈なメッセージとなるに違いない。

監督・脚本：西澤 昭男

三味線演奏：上妻 宏光 / 主題歌「新生」、挿入歌「道」：Yae

オーケストラ演奏：ポーランド国立ワルシャワ・フィルハーモニック・オーケストラ

製作：(株)ワオ・コーポレーション / 制作：(株)ワオワールド

- |              |                |                 |
|--------------|----------------|-----------------|
| 映倫青少年映画審議会推選 | (社)青少年育成国民会議推薦 | (社)日本PTA全国協議会推薦 |
| 東京都知事推奨      | 青森県推薦          | 青森県教育委員会推薦      |
| 青森県金木町推奨     | 岡山県推奨          | 岩手県教育委員会推薦      |
| 栃木県推奨        | 広島県知事推奨        | 奈良市教育委員会推薦      |
| 滋賀県教育委員会推薦   | 大阪市教育委員会推選     | 新潟県教育委員会推薦      |
| 和歌山県教育委員会推薦  | 和歌山市教育委員会推薦    | 滋賀県知事推奨         |
| 秋田県教育委員会推薦   | 京都府教育委員会推薦     | 富山県教育委員会選定      |
| 山形県教育委員会推薦   | 大阪府教育委員会特選     | 名古屋市教育委員会推薦     |
| 徳島市教育委員会推奨   | 愛知県教育委員会推薦     | 福岡県教育委員会推薦      |
| 福島県教育委員会推薦   | 長野県教育委員会推薦     | 福岡県推薦           |
| 北海道教育委員会選定   | 札幌市教育委員会推薦     |                 |
- (順不同)



視聴覚ライブラリー用・学校用

**DVD / VHS**

本編：100分/カラー・日本語・2chステレオ  
特典映像：20分/

メイキング NITABOHはこうして作られた。制作工程を一挙公開！

制作秘話 上妻 宏光氏のレコーディング風景も収録！

監督インタビュー 西澤監督、NITABOHへの熱き思いを語る！

ライブラリー価格

●団体貸出・館外上映権付

DVD 各¥63,000 (税込み)

VHS 各¥63,000 (税込み)

学校価格

●個人貸出・校内上映権付

DVD 各¥31,500 (税込み)

VHS 各¥31,500 (税込み)

「NITABOH」オフィシャルサイト▶▶▶ <http://www.nitaboh.com/>

**WAO!**  
Education & Entertainment

販売元



**東映株式会社 教育映像部**

関東営業推進室 TEL:03(3535)3631 関西営業推進室 TEL:06(6345)9026  
広島出張所 TEL:082(511)2066 高松出張所 TEL:087(851)3766 福岡出張所 TEL:092(262)3101

# 物語 STORY

日本の原風景、そこに暮らす人々。  
逆境、苦悩、出会いと別れ。ここから津軽三味線は生まれた。

青森県、金木村神原の船頭・三太郎の子として生まれた仁太郎。土農工商に属さない身分や、生まれてまもなく母を失うという不幸の中でもすくすくと育っていった。が、8歳のとき、当時流行っていた天然痘に冒され失明してしまう。それでも仁太郎は、笛や尺八に興味を持ち、幼いながらも自分の生きる術を模索する。

ある日、ゴゼのタマナの三味線演奏に魅せられた仁太郎は、三太郎を通じてタマナに三味線を教えてもらうよう頼み込む。タマナは娘のユキを連れての旅の途中であったが、しばらく神原に滞在して仁太郎にゴゼ三味線の手ほどきをする。そして三味線の基礎を指導し終えた後に、また旅立っていく。

仁太郎が11歳のときまたも不幸が訪れる。父・三太郎までも亡くしてしまうのである。天涯孤独の身となった仁太郎は、タマナに習った三味線で身を立てていこうと決意し、アニキ替わりの留吉や渡し場近くの宿屋の女主人お松たちに助けられて成長していく。

月日が流れ、仁太郎の評判は金木界隈では相応に知れ渡るが、そこにかつての幕府から保護を受けていた当道座（とうどうざ）が立ちほだかる。折りしも廃藩置県により、制度としての当道座は廃止されたのだが、前時代の権威にすがっている彼らは、仁太郎の人気を妬み、衝突を繰り返すことになる。この間、仁太郎はかつての三味線の手ほどきをしてもらったゴゼのタマナの娘ユキと再会し、ユキは仁太郎の最良の理解者となっていく。

仁太郎は何とか聴衆を喜ばせる三味線を弾こうと努力するうち、激しく三味線を叩くような演奏になっていく。そして、弦を切ったり皮を破いていく中で、それまでの三味線（細棹）が合わなくなってきたことに気づかせられる。

仁太郎は弘前に義太夫を聞きに行ったことを契機に、太棹を持ち替えたいと考えるが、それは仁太郎には手が出ない高価なものであった。

一方、東京での遊学を終えて津軽に帰っていた造り酒屋の御曹司・菊之助は、家業を継ぐことと新聞を発行したいという気持ちに揺れていた。そんな菊之助は“自分の選んだ道をひたむきに邁進する”仁太郎の生き方に惹かれ、新聞社の経営を学ぶためにアメリカに留学することを決心する。そして、日本を離れるにあたって、仁太郎に太棹を進呈するのである。

菊之助の恩に報いる為にも太棹を弾きこなさなければならない仁太郎。だが、誰もやったことのない奏法を極めることは容易な事ではなかった。もがき苦しむ仁太郎は、遂に寝食を断つイタコの修行に挑戦する。言語を絶する七日七晩の末、仁太郎は無我の境地に立ち入った。

そんな仁太郎の前に、旧当道座がその威信をかけて送り出した「10年に1人の天才」田原坊が戦いを挑んできた……。



◆ 依 萌子さん 評論家・作家  
津軽を舞台にして、日本や日本人の「原風景」つまり、日本のナショナリティをみごとに表現している。その意味でこの映画は、インターナショナルになりうる可能性をたくさん持っている。

◆ 斉藤 次郎さん 教育評論家  
子どもに対して訴える力がある。努力・オリジナリティの大切さ、最後に勝つ展開はわかりやすい。おもしろいところが多い。  
※試写会の感想集より抜粋

監督・脚本：西澤昭男

三味線演奏：上妻宏光／セネラルプロデューサー：村上匡宏／企画：西澤真佐栄

アニメーション監督・キャラクターデザイン：高岡淳一／音楽監督：クリヤ・マコト／演出：下司泰弘／総作画監督：釘宮洋  
美術監督：工藤ただし／主題歌「新生」・挿入歌「道」：Yae／原作：大條和雄

制作プロデューサー：鷹木純一／撮影監督：瓶子修一・林ヨシロー／編集：重村健吾／3DCG制作：デジタルフロンティア・赤華  
音楽プロデューサー：セラフ／音響監督：佐藤敏夫

オーケストラ指揮：天野正道／オーケストラ演奏：ホーランド国立ワルシャワ・フィルハーモニック・オーケストラ

東映株式会社 教育映像部

関東営業推進室 東京都中央区銀座3-2-17 〒104-8108 TEL:03(3535)3631

関西営業推進室 大阪市北区梅田1-12-6 〒530-0001 TEL:06(6345)9026

広島出張所 広島市中区八丁堀16-10 〒730-0013 TEL:082(511)2066

高松出張所 高松市本町11-7 〒760-0032 TEL:087(851)3766

福岡出張所 福岡市博多区中洲4-3-18 〒810-0801 TEL:092(262)3101

●お買い上げは……

(株)オプチカル 販売課 教育映像係

香川県高松市屋島西町2484-8

TEL 087-841-1100

FAX 087-841-1101